みなさんは「進撃の巨象」というのをご存知でしょうか。人気漫画にちなんで名付けられたそうで、今、中国で北上するアジアゾウの群れが注目されています。餌不足が原因だそうで、自然保護区から異例の北上を始め、５００キロほど進んでいます。

　最初は、民家の破壊などが報じられていましたが、途中の民家でお酒を飲んで隊列を離れてしまった象が出たり、排水構に落ちた子象を母親が助けるエピソードが伝わるようになり、中国ではまるでテレビドラマを見ているような感じになっているそうで、特に、中国では、象は縁起物とされ、群れが通った村は「運気が上がる」と歓迎ムードになっているそうです。日本でもこのニュースは、大きく取り上げられました。日本での報道ぶりは中国でも紹介され、「中国の動物愛護の精神が伝わった」などのコメントが中国の会員制交流サイト（SNS）で取り上げられたそうです。

　でも、私は違和感を覚える。それは、そもそもの原因を誰も追求していないからです。象人気の背景に、政治的な思惑を感じるのは私だけでしょうか。エネルギー不足を解消するために、環境を破壊した人々の姿がここには報じられていません。放浪する象の姿に、私は将来の人間の姿を重ね合わせてみているのです。